[6641/5G-121-001]

Ver.16

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G121 抗ARS抗体

抗ARS抗体

anti-ARS antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

6641	001	抗ARS抗体

検査予約

至急オーダー

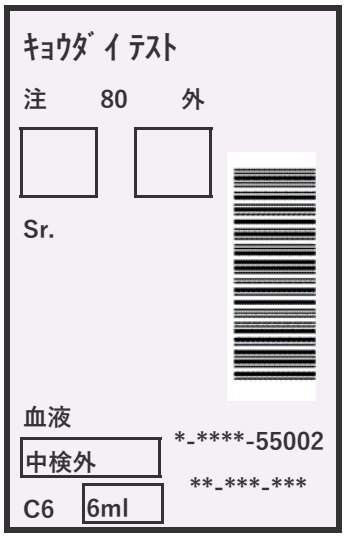
不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)



ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

2026/07/10　14:42

[6641/5G-121-001]

Ver.16

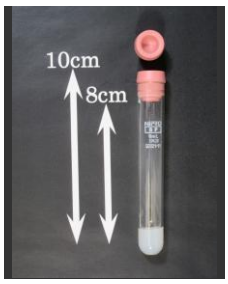
5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G121 抗ARS抗体

抗ARS抗体

anti-ARS antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

01	C6	凝固促進剤＋血清分離剤(ピンク)			
採取材料	血液	採取量	6 mL		
生化分離	遠心				
測定材料	血清	測定必要量	0.3 mL		



採取容器について

検体採取について

採取後検体の取扱い

検体搬送について

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血清	保存条件1	冷蔵	28 日				

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い

尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査･追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間（検体量ある場合のみ）
（分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照）

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

2026/07/10　14:42

[6641/5G-121-001]

Ver.16

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G121 抗ARS抗体

抗ARS抗体

anti-ARS antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

検査機器	
検査所要日数	2～4日
検査部門・委託先	外部委託（エスアールエル）
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	

検査結果報告について

基準値設定材料・検査方法

基準値設定材料	血液
検査方法	酵素免疫吸着測定法（ELISA）

生物学的基準範囲

		男性	女性	単位
00	INDEX	25.0 未満	25.0 未満	(単位なし)
00	判定	陰性(−)	陰性(-)	(定性・判定)

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

  多発性筋炎・皮膚筋炎（PM/DM）は, 筋力低下を主徴とする原因不明の炎症性疾患である. 筋以外にも多彩な全身の臓器病変を合併することが多く, 症状が筋肉及び内臓にとどまるものをPM, それに加えて皮膚症状をともなうものをDMと呼ぶ. PM/DMでは, 多様な筋炎特異的自己抗体が現れるが, そのうち最も高頻度な自己抗体がアミノアシルtRNA合成酵素に対する自己抗体（抗ARS抗体）である.
  抗ARS抗体陽性の患者は総じて「抗合成酵素症候群（anti-synthetase syndrome：ASS）」あるいは, 「抗ARS抗体症候群」と呼ばれており, 筋症状, レイノー現象, 機械工の手などの症状を好発するほか, 極めて高い確率で間質性肺炎を併発する. ステロイド反応性が良いが再燃しやすいといった共通した臨床的特徴が認められる.

2026/07/10　14:42

[6641/5G-121-001]

Ver.16

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G121 抗ARS抗体

抗ARS抗体

anti-ARS antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

異常値を示す病態・疾患

対象疾患　間質性肺炎(Interstitial Pneumonia：IP), 多発性筋炎(Polymyositis：PM), 皮膚筋炎(Dermatomyositis：DM)

参考文献

エスアールエル 検査要項

山田祐介ほか. 【炎症性筋疾患に関する最近の知見】抗アミノアシルtRNA合成酵素抗体と関連病態. リウ

JLAC10

分析物	5G121	抗ARS抗体
識別	0000	
材料	023	血清
測定法	000	

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2014/08/11	2014/08/13～	新規作成・KINGオーダリング開始
2	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(SRL⇒LSIM), 報告日数変更
3	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
4	2017/04/21	2017/03/10～	最低採取量・容器変更([2mL]⇒[3mL])
5	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
6	2019/12/16	2019/12/16～	JLAC10更新に伴う検査項目名称変更
7	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
8	2020/12/16	2020/12/17～	採血容器変更
9	2021/07/02	2021/07/02～	検体保存条件を変更

2026/07/10　14:42

[6641/5G-121-001]

Ver.16

抗ARS抗体

anti-ARS antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

10	2021/08/02	2021/05/27～	採血容器変更
11	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
12	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
13	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
14	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
15	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定
16	2026/06/11	2026/06/01～	外部委託契約更新にともなう変更

2026/07/10　14:42